

生活クラブ生協愛知「ソーシャルメディア・ガイドライン」

【愛知単協の役職員のソーシャルメディア利用に関する留意点】

役職員は、インターネット上で情報を発信することの影響度を十分理解したうえで、ソーシャルメディアを利用し、個人アカウントで情報発信する際、以下の点に留意します。

また、組合員についても、このガイドラインに準じ、役職員を組合員に置き換え留意します。

(1) 基本的な留意点

- (ア) 生活クラブ生協愛知の役職員であることの自覚と責任を持たなければならない。
- (イ) 関係法令および役職員の服務規定や情報の取扱いに関する規程等を遵守しなければならない。
- (ウ) 基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権等に関して留意しなければならない。
- (エ) 一度ネットワーク上に公開された情報は完全には削除できないことを理解しておくなければならない。
- (オ) 自らが発信した情報により、意図せずに他者を傷つけたり、誤解を生じさせた場合には、誠実に対応するとともに、正しく理解されるよう努めなければならない。また、自らが発信した情報に関し攻撃的な反応があった場合には、冷静に対応し無用な議論となることを避けなければならない。
- (カ) 次に掲げる情報は発信してはならない。
 - ・ 他者を侮辱する情報
 - ・ 人種、思想、信条等の差別、又は差別を助長させる情報
 - ・ 違法行為または違法行為をあおる情報
 - ・ 根拠や事実確認が取れない情報
 - ・ わいせつな内容を含むホームページへのリンク
 - ・ その他公序良俗に反する一切の情報

(2) 生活クラブに関する情報を発信する場合の留意点

- (ア) 生活クラブと利害関係にある人または団体の秘密に関する情報を発信してはならない。
- (イ) 生活クラブの権利を侵害する情報や、正当な理由なく他者の権利を侵害する情報を発信してはならない。
- (ウ) 生活クラブのセキュリティを脅かすおそれのある情報を発信してはならない。
- (エ) 個人で利用している場合において、生活クラブの役職員であることを明らかにして、生活クラブに関する情報を発信するときは、自らは直接サービス上関わらない事項であっても、読み手側は関わっていると捉える可能性があるため、不正確な記述が多大な影響を及ぼすことについて留意しなければならない。

- (オ) 愛知単協の政策や方針に言及する場合は、個人的見解であることを明確にする。生活クラブの公式見解であると誤解をまねくような発言をしない。
- (カ) 発表前の事業業績、事業計画、事業機密など、サービス上の機密情報を漏らさない。
- (キ) 生活クラブについて外部から否定的・中傷的な投稿を目にした場合にも、自分の判断で反論や議論を展開しない。問題となる投稿を見かけた場合には、生活クラブ愛知総務部に速やかに報告する。